



CDについて

CDとはCompact Diskの略であり、円盤型のディスクメディアで、音楽やデータを記憶するためなどに幅広く使われています。

CDの種類には大きく分けて3種類!

- ・CD-ROM 読み取ることしかできないもの。(書き込みできない)
- ・CD-R データを一度だけ書き込み(保存)できるもの。(上書き保存のように後で書き換えることができない)
- ・CD-RW 何度でも読み書き(保存や削除)できるもの。

どのくらいのデータ量が保存できるか

CDは650～700MB(メガバイト)の容量のものがああります。1枚のCDにフロッピーディスク400～500枚分ものデータが保存(書き込み)できます。

DVDについて

DVDとはDigital Versatile Diskの略であり、CD

と同じ円盤型のディスクメディアで、コンピュータ用ソフトウェアの配布や、映画などの映像作品の配布などに幅広く使われています。Versatileには、多用途という意味があります。

DVDの種類には大きく分けて4種類!

- ・DVD-ROM 読み取ることしかできないもの。(書き込みできない)
- ・DVD-R/+R CD-Rと同様に1度だけ書き込み(保存)できるもの。(上書き保存のように後で書き換えることができない)
- ・DVD-RW/+RW 約1,000回の読み書き(保存や削除)できるもの。
- ・DVD-RAM 約10万回の読み書き(保存や削除)できるもの。指紋や傷からディスクを保護するためカバーが付いている。

どのくらいのデータ量が保存できるか

DVDはCDと違い、種類によって両面記録、2層記録などが可能で、1枚の片面DVDにCD7～12枚分程度のデータが保存(書き込み)できます。

写真募集!

このコーナーでは、現在と比べることができ、昔の風景などの写真を募集します。撮影した年代が分かる写真をお持ちの方は、ぜひご連絡ください。(広報広聴係・内線186)

平成3年

杉焼池に映る建設中の稚児岩大橋に、趣を感じる一枚です。



現在

杉焼池が整備され、憩いの場所、そして散策コースとして、多くの方に利用されています。



写真で比べる昔と今

とぎの流

第7回

杉焼池

写真提供 林高雄さん(駄知町)